



タイトル「**2019年度シラバス (学部)**」、フォルダ「**2019年度シラバス (学部) -基礎教育科目-理工学部-1年次シラバス掲載科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目コード	0FA10002		
科目名	□基礎ゼミナール		
担当教員	澤田 直		
対象学年	1年	クラス	[413]
講義室	1 2 3 1 3 演習室	開講学期	前期
曜日・時限	水 2	単位区分	必
授業形態		単位数	2
準備事項			
備考			
A 講義概要/Class Outline	新入生を各研究室に分け、少人数グループで学習を行う。大学での学習マナー、専門教育を受講する上で必要となる基礎知識を、討論や、レポートの作成、プレゼンテーション、外部講師の講演、施設見学等とおして身につけ、大学生活の目標を明確にする。受講生は様々な経験、他の学生との交流により、コミュニケーション能力を高めるとともに、調査、分析、討論を行う能力、自主的な学習姿勢、多様な価値観の理解能力を身につけることを到達目標とする。		
B 講義計画(テーマ及び学習内容)	クラスを担当する教員の指導でクラス毎に独自のテーマで演習を実施する。演習の結果はウェブ形式のレポートとして公開する。 また、図書館の利用・文献検索の方法等に関する図書館ガイダンス、および、社会の構成員としての自覚・責任感・倫理観を学ばせる目的で講演会等を実施する。 日々の自学自習時間は、毎週予習2時間・復習2時間を取るよう努めること。		
	回	内容	
	1	全体ガイダンス及びクラス分け、履修計画の指導 【事前・事後学習】 学生便覧・履修ガイド・時間割を参考に履修計画を立てる	
	2	クラス毎のガイダンス 【事前・事後学習】 現在の学習目標をまとめる	
	3	外部講師によるグループワーク 【事前・事後学習】 大学4年間の目標をまとめる	
	4	図書館ガイダンス 図書館の利用・文献検索の方法等 【事前・事後学習】 図書館利用案内を読む	
	5	外部講師による講演会 社会の構成員としての自覚・責任感・倫理観を学ぶ 【事前・事後学習】 講演テーマについて調査する	
	6	クラス毎のテーマで演習 テーマ：模型計算機シミュレータと小型ロボットシミュレータの紹介 【事前・事後学習】 テーマに関する予習・復習をする	
	7	クラス毎のテーマで演習 テーマ：模型計算機シミュレータを用いたプログラム演習 (1) 基礎 【事前・事後学習】 テーマに関する予習・復習をする	
	8	プレゼンテーションやディスカッションなど口頭発表の技法についての演習 【事前・事後学習】 さまざまなプレゼンテーションを視聴する	
	9	クラス毎のテーマで演習 テーマ：模型計算機シミュレータを用いたプログラム演習 (2) 加減算 【事前・事後学習】 テーマに関する予習・復習をする	
	10	クラス毎のテーマで演習 テーマ：模型計算機シミュレータを用いたプログラム演習 (3) 繰り返し処理 【事前・事後学習】 テーマに関する予習・復習をする	
	11	クラス毎のテーマで演習 テーマ：模型計算機シミュレータを用いたプログラム演習 (4) 乗除算 【事前・事後学習】 テーマに関する予習・復習をする	
	12	クラス毎のテーマで演習 テーマ：模型計算機シミュレータについてプレゼンテーション作成 【事前・事後学習】 テーマに関する予習・復習をする	
	13	クラス毎のテーマで演習 テーマ：プレゼンテーション実施	

	【事前・事後学習】テーマに関する予習・復習をする
14	ウェブ形式のレポートの作成 【事前・事後学習】レポート作成の準備・確認をする
15	ウェブ形式のレポートの公開 【事前・事後学習】レポート公開の準備・確認をする
C到達目標/Class Goal	<p>【学習・教育到達目標】</p> <p>A-3-2 日本語について、論文やレポートの形式と書き方を学ぶことにより、日本語文章の論理的な記述力を養う。また、情報科学に関連したテーマの調査、分析、討論により日本語の発表力、コミュニケーション能力を養う。（関連度△）</p> <p>【科目の到達目標】</p> <p>[1] 与えられたテーマについて、教員の指導などに従って、調査、分析、討論、実装などを行うことができる。 [2] 結果を適切にまとめて公開することができる。 [3] 仕事を計画的に進め、期限内に目標を達成することができる。 [4] 自主的に学習を進めることができる。 [5] チームワーク力、リーダーシップ力がある。 なお、プレゼンテーションソフトとしてはPowerPoint等を使用する。</p>
D準備学習の内容(事前・事後学習)	講義時に指示する。 大学における生活や学習の方法に早く慣れると共に、大学の様々な施設やオフィスアワーや学習支援室をはじめとする支援制度を活用する方法を学ぶこと。
E評価基準GradingCriteria	科目の到達目標の項目について 秀) 総合的に90%以上を満たす。 優) 総合的に80%以上を満たす。 良) 総合的に70%以上を満たす。 可) 総合的に60%以上を満たす。
F評価方法/Grading Method	科目の到達目標との関連は以下の通りである。 ウェブレポート 40% ([1]~[3]を基準に評価する) 学習態度 60% ([1]、[3]~[5]を基準に評価する)
G受講上の注意/Class Rules	ウェブ形式のレポート提出がないと単位の取得はできない。 必要な場合には学外授業を行うこともある。 講義計画は、学生の適性や進捗状況により変更することがある。 貸与PCを利用するので必ず持参すること。
H受講制限/Prerequisite	なし
I 関連する科目RelatedClass	情報リテラシー
J教科書/Text	なし
K指定図書/Assigned Books	なし
L参考文献/Bibliography	なし

メモ 	
--	--

